

Park-PFIの活用による公園整備について

Park-PFI(公募設置管理制度)の概要および、本市における活用事例について報告するもの。

1 Park-PFIの概要

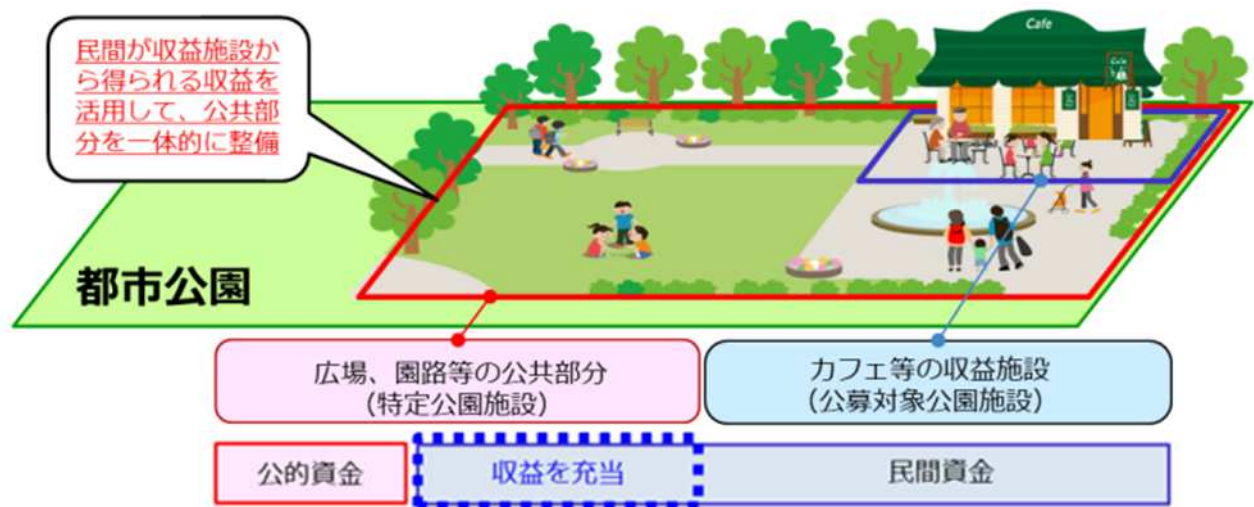
(1)目的

公園施設の老朽化や維持管理費の増大、利用ニーズの多様化といった課題に対し、限られた財源の中で公園の質を高め、安全・快適な空間を将来にわたり維持していくため、民間の投資・運営ノウハウを活用する公民連携(PPP)の一手法として平成29年に創設。

Park-PFI 制度により、行政の財政負担を軽減しつつ、カフェやレストランなどの収益施設を設けて公園の利便性を高め、地域の活性化にもつなげることを目的としている。

(2)仕組み

公園内のカフェ・売店などの収益施設(=公募対象公園施設)を、公募により選定した民間事業者が整備・運営し、その収益を原資に周辺の広場・園路などの公共部分(=特定公園施設)の整備・改修等を一体的に行う仕組み。



出典:国土交通省

(3)メリット

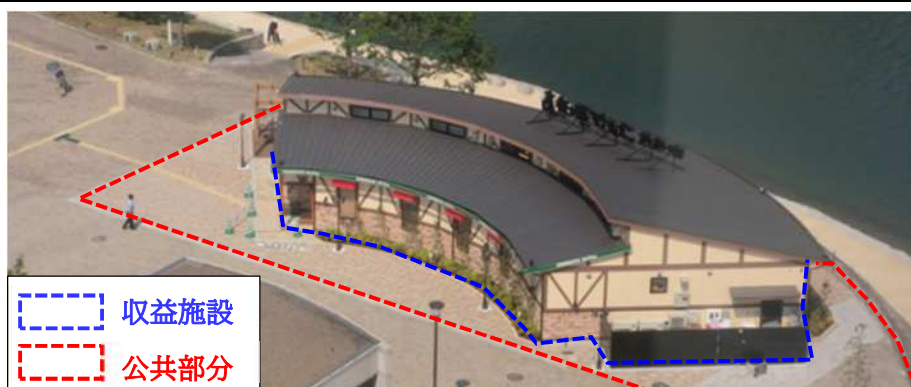
- ① 民間資金の活用による行政負担の軽減と土地の使用料収入の確保
- ② 事業期間の延伸【最大10年⇒20年】
- ③ 設置する施設の建ぺい率の緩和【カフェ・売店等の便益施設:2%⇒12%】

2 本市における活用事例(Park-PFI 制度)

(1)勝山公園

本市のシンボル公園である勝山公園において、公園利用者の利便性の向上や新たなサービスの提供による公園の魅力向上、賑わいの創出を図るため、飲食施設を整備したもの。

整備概要	収益施設(公募対象公園施設)：飲食施設 ※事業者が整備運営 公共部分(特定公園施設)：周辺の園路、広場、パーゴラ、植栽等
実施する飲食事業	珈琲所コメダ珈琲店
事業者	(有)クリーンズ
事業期間	平成30年度～令和19年度
本市の土地使用料収入	2,400千円／年
公共部分の整備費	15,482 千円 (市負担 13,000 千円(84%)、事業者負担 2,482 千円(16%))



(2)到津の森公園

到津の森公園の賑わいづくりや魅力向上を図るため、南側エントランスにおいて、来園者の期待感を高揚させるような動物公園にふさわしいエントランス施設や飲食施設を整備したもの。

整備概要	収益施設(公募対象公園施設)：飲食施設、駐車場 ※事業者が整備運営 公共部分(特定公園施設)：エントランス、エレベーター、階段、広場等
実施する飲食事業	スターバックスコーヒー
事業者	大和リース㈱北九州支店
事業期間	令和4年度～令和24年度
本市の土地使用料収入	3,492 千円／年
公共部分の整備費	234,520 千円 (市負担 208,000 千円(89%)、事業者負担 26,520 千円(11%))

